

2 型糖尿病患者におけるイメグリミンによる腎機能への影響

1.研究の対象

2022年8月から2024年3月までに当院でイメグリミンが開始された2型糖尿病患者を対象とし、eGFR45 mL/min/1.73m²未満、eGFR45 mL/min/1.73m²以上で2群に分け、既往歴、利尿剤やRAS阻害薬併用の有無、糖尿病治療薬併用状況、イメグリミン投与量、開始1、2、4、6カ月後のeGFR、蛋白尿、HbA1cについて後方視的に調査します。

2.研究目的・方法

イメグリミンはインスリン抵抗性及びインスリン分泌能低下に対して改善効果を有する新規の経口糖尿病治療薬です。一方、eGFR45mL/min/1.73m²未満の患者には投与非推奨であり、動物実験では腎機能の改善が報告されているが臨床研究における報告は少ないです。今回、イメグリミンが開始された2型糖尿病患者における腎機能への影響について検討します。

3.研究に用いる情報の種類

観察研究

4.外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5.研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 高山 直也

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 高山 直也